

平成27年度 学校教育自己診断 教職員アンケート結果

進路指導部 平成28年1月18日

※「わからない」という回答は、母数には  
含むが、表に含まない。

アンケート対象：教職員 54名（64名中）

単位（%）

	対象	質問事項	85%以上		昨年度比		
			今年度	昨年度	左：マイナス	右：プラス	
I-1	教科	年間の学習指導計画・評価・指導法について教科内でよく話し合っている	81.5%	18.5%	87.3%	-5.8%	-5.8%
I-2	教科	各教科において、基礎・基本を明確にし、教材の精選・工夫を行なっている	87.0%	11.1%	91.9%	-4.9%	-4.9%
I-3	個人	自分の授業に対して生徒がどう思っているか把握に努めている	88.9%	9.3%	93.5%	-4.6%	-4.6%
I-4	個人	生徒の実態や要求をふまえ、指導方法の工夫・改善を行なっている	98.1%	1.9%	93.7%	4.4%	4.4%
I-5	学校	指導内容について、教員間でよく意見交換できている。	85.2%	14.8%	87.1%	-1.9%	-1.9%
I-6	個/学	放課後を使って講習や補習を行なっている	63.0%	33.3%	71.0%	-8.0%	-8.0%
I-7	個人	学習意欲の高い生徒に対する学習指導を、個に応じた視点で工夫して行なっている	79.6%	20.4%	82.3%	-2.7%	-2.7%
I-8	個人	到達度の低い生徒に対する学習指導を行なっている	70.4%	27.8%	77.4%	-7.0%	-7.0%
I-9	生徒	生徒の家庭学習の量は十分である	22.2%	64.8%	24.2%	-2.0%	-2.0%
I-10	教科	コンピュータなどの情報機器が、各教科の授業などで活用されている	59.3%	37.0%	63.5%	-4.2%	-4.2%
II-1	個人	自分は、カウンセリングマインドをとり入れた生徒指導を行なっている	72.2%	16.7%	75.8%	-3.6%	-3.6%
II-2	学校	生徒の問題行動がおきたとき、組織的に対応できる体制が整っている	83.3%	14.8%	82.5%	0.8%	0.8%
II-3	学校	様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で取り組んでいる	72.2%	20.4%	71.4%	0.8%	0.8%
II-4	学校	教育活動において、奉仕等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている	59.3%	31.5%	58.7%	0.6%	0.6%
II-5	個人	生徒指導において、家庭との緊密な連携ができている	75.9%	16.7%	73.0%	2.9%	2.9%
II-6	学校	生徒会活動が活発に行われている	92.6%	7.4%	92.1%	0.5%	0.5%
II-7	学校	この学校では清掃がいきとどいている	74.1%	24.1%	69.8%	4.3%	4.3%
III-1	学校	教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会が多い	64.7%	27.5%	74.6%	-9.9%	-9.9%
III-2	学校	人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法について、全教職員で話し合っている	70.6%	21.6%	69.8%	0.8%	0.8%
III-3	学校	障害者理解を深め、ノーマライゼーションの理念に基づく社会を築く資質を養うことができるように工夫している	49.0%	31.4%	58.7%	-9.7%	-9.7%
III-4	学校	体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢に基づいた生徒指導が行われている	86.3%	11.8%	81.0%	5.3%	5.3%
III-5	学校	男女共生意識に基づく社会を築く資質を養うことが出来るよう工夫している	66.7%	23.5%	73.0%	-6.3%	-6.3%
III-6	学校	異文化理解を促進する工夫がなされている	96.1%	3.9%	93.7%	2.4%	2.4%
III-7	生徒	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することが出来る	86.3%	11.8%	90.5%	-4.2%	-4.2%
III-8	学校	この学校では生徒間にいじめが起こらないように工夫している	74.5%	15.7%	73.0%	1.5%	1.5%
IV-1	学校	生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、各学年に応じた系統的な進路指導を行っている	76.5%	9.8%	84.1%	-7.6%	-7.6%
IV-2	学校	生徒一人一人が興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい情報提供を行っている	82.4%	11.8%	82.5%	-0.1%	-0.1%
IV-3	学校	学校は大学・専門学校などとの交流の機会を積極的に設けている	94.1%	5.9%	93.7%	0.4%	0.4%
V-1	個/学	保護者や地域の人々と接する機会を多く持っている	76.5%	19.6%	88.9%	-12.4%	-12.4%
V-2	学校	学校は支援学校との交流の機会を積極的に設けている	86.3%	9.8%	93.7%	-7.4%	-7.4%
VI-1	個/学	部活動の活性化について工夫している	94.1%	5.9%	88.9%	5.2%	5.2%
VI-2	学校	部活動と学習を両立させるために、学校全体で取り組んでいる	62.0%	34.0%	68.3%	-6.3%	-6.3%
VII-1	個人	毎日充実して仕事をしている	88.9%	11.1%	87.1%	1.8%	1.8%
VII-2	学校	教職員間の相互理解が十分になされ、信頼関係にもとづいて教育活動が行われている。	83.3%	16.7%	79.0%	4.3%	4.3%
VII-3	学校	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができている。	88.9%	9.3%	85.5%	3.4%	3.4%
VII-4	学校	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	75.9%	18.5%	59.7%	16.2%	16.2%
VII-5	学校	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している	61.1%	25.9%	64.5%	-3.4%	-3.4%
VII-6	学校	職員会議をはじめ各種会議が、教育活動や学校運営に生かされている	50.0%	35.2%	48.4%	1.6%	1.6%
VII-7	学校	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている	53.7%	33.3%	67.7%	-14.0%	-14.0%
VII-8	学校	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている	61.1%	27.8%	67.7%	-6.6%	-6.6%
VII-9	学校	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している	69.8%	17.0%	75.8%	-6.0%	-6.0%
VII-10	学校	この職場においては、教職員の服務規律への自覚が強い	75.9%	11.1%	85.5%	-9.6%	-9.6%
VII-11	学校	校内研修は教育実践に役立つような内容となっている	68.5%	22.2%	67.7%	0.8%	0.8%
VII-12	学校	研修や研究会に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている	46.3%	40.7%	61.3%	-15.0%	-15.0%
VII-13	学校長	校長は自らの教育理念や学校運営についてリーダーシップを発揮している	85.2%	5.6%	72.6%	12.6%	12.6%
VII-14	学校	学校運営に、教職員の意見が反映されている	68.5%	18.5%	38.7%	29.8%	29.8%
VIII-1	学校	本校の教育活動には、他校にはない特色がある	92.6%	3.7%	93.5%	-0.9%	-0.9%
VIII-2	学校	学校は、教育活動全般について、生徒の願いによくこたえている	88.9%	7.4%	77.4%	11.5%	11.5%
VIII-3	学校	学校は、教育活動全般について、保護者の願いによくこたえている	72.2%	18.5%	75.8%	-3.6%	-3.6%
VIII-4	学校	年度ごとに教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている	70.4%	11.1%	77.4%	-7.0%	-7.0%
VIII-5	学校	学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行なっている	83.3%	13.0%	83.9%	-0.6%	-0.6%